

次年度への引継ぎ事項

【事業構築面での問題点・引継ぎ事項】	
問題点 1	講師の選定がとても重要と感じました。
引継ぎ 1	何をお話ししていただくかも重要であるが、誰が話すかで参加促進や賛同率が高まると考えます。
問題点 2	講師の方との打ち合わせを行ったが当日や前日になり、対応が必要なことがでてきた。
引継ぎ 2	講師の方と確認するべき点などをしっかり事前に確認し、当日資料の反映など、柔軟に対応する必要があります。
問題点 3	式典に参加してもセミナーに参加せず、交流会時に帰ってくる方が見受けられました。
引継ぎ 3	セミナーの参加を当たり前のものとするため、式典や懇親会との連動性を持たせる必要があると考えます。
問題点 4	託児所を設けたが直前になり参加者の都合により参加人数が減少しました。託児所アンケートを確認したところ、利用者からは必要との声もありますが、費用対効果としては疑問が残る結果となりました。
引継ぎ 4	今後託児所を設けることは良いかと思いますし、子育て世代への配慮も必要かと思います。アンケート結果に受益者負担でも利用したいとの声もあり、受益者負担での設えも今後検討する必要があると考えます。
問題点 5	本事業のように講演を手法とする際は講師の選定がメンバーの参加促進や成長の機会の創出に、とても重要であると感じた。
引継ぎ 5	「今後、どのような方のどのような講話を聞いてみたい等ありましたら教えてください。」とアンケートの設問5に入れさせていただきましたが回答結果から、社業にもつながる方からの講話やJC活動においての失敗談をお聞きしたいとの回答が多くみられました。今後講話をを行う事業の際は参考にしていただき、講師選定を行っていただければメンバーの参加促進や成長の機会につながると考えます。
【事前広報面の問題・引継ぎ事項】	
問題点 1	本事業では新潟ブロック会員全メンバーに個人メールを送付し、参加促進に努めました。メンバーのメールアドレスを各LOM専務からいただき着手いたしましたが、計画よりも遅れての配信となりました。
引継ぎ 1	新潟ブロックコンファレンスの議案は次年度段階から作成することになりますが、各LOMでも次年度活動と本年度活動が混在する時期もあります。各LOM専務にお願いすることも少なからずあると思いますので、余裕を持ったスケジュール立てが必要です。
【事前準備の問題・引継ぎ事項】	
問題点 1	備品リストに漏れが多く当日対応が多かった。
引継ぎ 1	当日のイメージを委員会内で共有しておく必要があります。事業の目的、対象者をイメージすることで必要なものが明確になります。
問題点 2	前日までにリハーサルが1回しかできませんでした。
引継ぎ 2	新潟ブロックコンファレンスの議案は次年度段階から作成することになりますが、次年度活動と本年度活動が混在する時期もありますし、委員会メンバーも決まり切らない時期もあります。新潟ブロックコンファレンスを担当する際は、委員会メンバーの早い段階での召集と、スケジュール管理が重要になります。
問題点 3	見積書をいただく際、記載に対して日本青年会議所から細かい指示がございます。先方とのやり取りが無駄に多くなってしまった。
引継ぎ 3	先方に失礼のないように財政局と確認を取った後に着手する必要があります。
【事業当日の問題・引継ぎ事項】	

問題点 1	座席が埋まりきっておらず、前に空席が目立ちました。
引継ぎ 1	座席の数を流動的に設定するか、後部を立ち見として、後から席を増やせるようにしてよかったです。
問題点 2	飲み残しペットボトルなどゴミが多く見受けられました。
引継ぎ 2	持ち込んだものは自分で片付けてもらうようなアナウンスも必要あります。
問題点 3	アテンドするために席を空けておいたにも関わらず、荷物をどかされ、席を取られてしまいました。
引継ぎ 3	席の配置や座る位置のアナウンスなどを事前に周知する必要があります。
問題点 4	講演の際は「～分経過」「残り～分」のカンペを用意することで、タイムスケジュールをコントロールすることができます。
引継ぎ 4	本事業では当日に気づき用意しましたが、概ねタイムスケジュール通りの設えとなりました。
問題点 5	寝ている人がいて、うるさく感じたとご指摘をいただきました。
引継ぎ 5	会の進行、周りの方への迷惑になりますので、会場スタッフが注意を促す必要がありました。
問題点 6	PPT のスライド操作がうまく反応せず、講師に気を使わせてしまいました。
引継ぎ 6	基本的にタブレットなどの一般的なOSやUIでない端末は使用せず、WINDOWSなどのノートPCで操作するようにしましょう。機材愛称や、タッチ操作の優先などがあるため、タブレットの使用は向いていません。
問題点 7:	講演内容を LOM に還元するため、アーカイブがほしいとの意見がございました。アンケートを紙媒体で実施しましたが、回収率は高まりますが、グーグルフォームとは違い、回答せずに提出ができるので、無記入が多く見受けられ、回収率が上がったとは言い難い結果でした。
引継ぎ 7:	講演等を行う際はカメラを2台用意してアーカイブ用と会場全体用とに分けて記録することで、事業内容を広く波及できることと考えます。
問題点 8:	アンケートを紙媒体で実施しましたが、回収率は高まりますが、グーグルフォームとは違い、回答せずに提出ができるので、無記入が多く見受けられ、回収率が上がったとは言い難い結果でした。
引継ぎ 8:	アンケート結果からも紙媒体、WEB 媒体どちらでも回答できる設えにしてほしかったとの意見もあり、紙媒体で回答いただく際には WEB 回答も同時にいどちらからでも回答できる仕組みにすることで回答率は高まるものと考えます。 しかし紙媒体でのメリットもあり、スタッフが集計する際に全ての回答に目を通せたことで、反省点等も細かく洗い出せることができました。